



速報

■発表先：津山記者会

記者発表資料

配布日

平成29年 9月20日

苫田ダムの洪水調節について

～平成29年9月17日の防災操作と効果～

苫田ダム流域では、9月17日11時頃から18日24時にかけて、台風18号の影響により強い雨が降り、苫田ダム上流域で降り始めからの流域平均累加雨量132mmを記録しました。

このため、苫田ダムではダムへの流入量が最大で毎秒約340m³に達し、このとき毎秒約244m³の水をダムに溜め込みました。

この結果、ダム下流の津山地点（津山市昭和町今井橋付近）では、約55cmの水位を低減させる効果があったと推測されます。

また、津山市街地の浸水被害軽減を目的とした要請を受け、通常の防災操作に加え、今後の予測降雨量、ダムの残りの貯水容量等を勘案しながらダムの貯水容量を可能な限り有効活用し、放流量を規定（操作規則・細則）よりも減じる操作（適応操作）も実施しました。

○台風18号による洪水の規模

累加雨量 131.7mm（流域平均）

最大流入量 毎秒334m³（過去5位）

最大放流量 毎秒143m³

津山地点の水位低減効果 約55cm

<問い合わせ先>

国土交通省 中国地方整備局 苫田ダム管理所

TEL (0868) 52-2151

【総括】 所長 川本 洋次郎

【担当】 専門官 有満 命

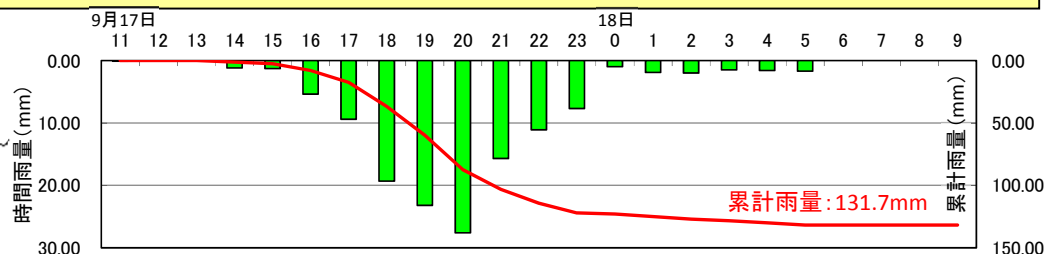
苫田ダムの防災操作と効果

(平成29年9月17日)

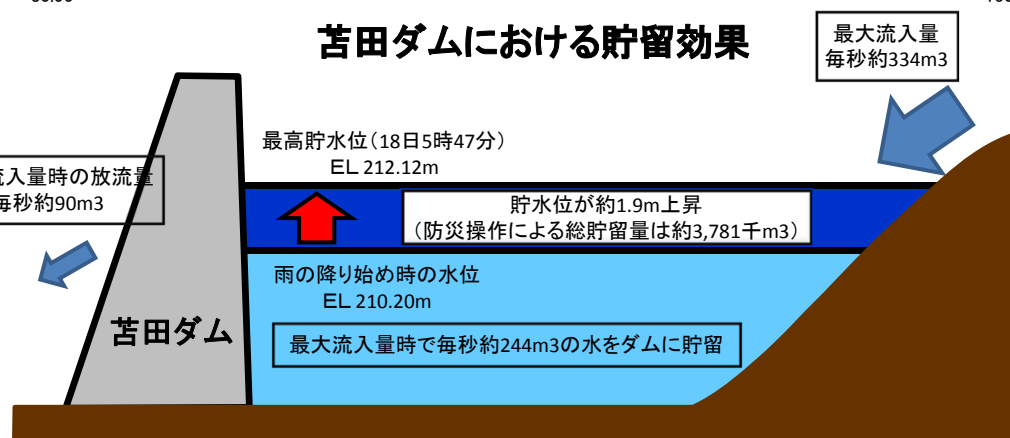
～吉井川津山地点の水位を約55cm低下～

- 平成29年9月17日から18日にかけて、台風第18号の影響により強い降雨となり、苫田ダム上流域において、平成29年9月17日11時～18日5時の累加雨量（流域平均）が**132mm**となり、ダムへの最大流入量は**毎秒334m³**（平成17年の管理開始以降で歴代第5位）を記録。
- 今回の防災操作において、**約3,781千m³**の水を貯留し、下流の河川へ流す水量を最大で**毎秒約244m³**低減。
- ダム下流の津山地点（岡山県津山市昭和町今井橋付近）では**約55cm**の水位を低減させる効果があったものと推定。

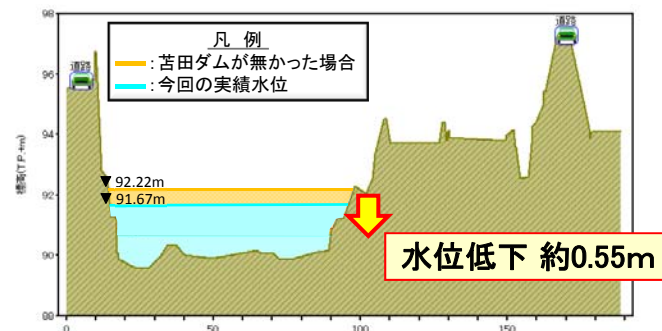
苫田ダム位置図



苫田ダムにおける貯留効果



津山地点(津山市昭和町今井橋付近)における水位低減効果



苫田ダムの放流状況

苫田ダム諸元

- ・形式: 重力式コンクリートダム
- ・高さ: 74m
- ・総貯水容量: 84,100千m³
- ・洪水調節容量: 50,000千m³

※数値は速報値であり、今後変わることがあります。